

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。下記に主なお薬を示しますので、ご参考にご覧ください。後発品などたくさんのお薬がありますので、詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。
 献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬剤名をご申告ください。なお、**検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので何卒ご了承ください。**

当日服用していても採血できる対象薬(健康状態が献血に不適でない限り考慮しなくてよい)		
種類	注意事項	
ビタミン薬	ビタミンKを除く	原因となっている疾患の状態により判断する。
漢方薬	肝炎治療のための服用を除く	原因となっている疾患の状態により判断する。
抗アレルギー薬	ステロイド含有薬を除く	>ステロイド含有薬(最終服用日を含む3日間採血できない) セレスタミン、エンペラシン、サクコルチン、セレスターナ、ヒスタブロック、プラデスミン、ベタセレミン など >市販の花粉症、アレルギー性鼻炎薬は献血できる
痛風・高尿酸血症治療薬	痛風発作治療薬(コルヒチン)を除く	>痛風・高尿酸血症治療薬(献血できる) ベネシッド、ユリノーム、サイロリック、サロベール、フェブリク など
脂質異常症(高脂血症)治療薬	抗ヒトPCSK9抗体モノクローナル抗体製剤を除く	>抗PCSK9抗体(3か月間献血できない) レパーサ
胃腸薬		原因となっている疾患の状態により判断する。
低用量ピル	服用目的により採血できない場合がある	次の場合は献血できる。 ・バースコントロール ・更年期・月経困難症等のホルモン補充療法
局所投与の薬物(点鼻、点眼、吸入、外用)	心疾患、喘息、COPD、感染症など、症状・使用目的により献血できない場合がある	
緩下剤(便秘薬)	副交感神経興奮薬を除く	>副交感神経興奮薬(最終服薬日を含む3日間は採血できない) オビソート、ベサコリン、ワゴスチグミン
降圧薬	・合併症がないこと ・血圧がコントロールされていること ・服用開始直後、服用量を変更した場合は慎重に判断する	複数剤の服用でも献血できる。
前立腺肥大症治療薬	アボダート、アボルブ、プロスカール、プロペシアを除く	>前立腺肥大症治療薬 パラプロスト、セルニルトン、フリバス、ユリーフ、ハルナール、エビプロスタット など
禁煙補助薬	内服薬を除く	>内服薬(最終服薬日を含む3日間は採血できない) チャンピックス

薬の服用と献血ができるまでの期間について②

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。下記に主なお薬を示しますので、ご参考にご覧ください。後発品などたくさんのお薬がありますので、詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。
 献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬剤名をご申告ください。なお、**検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので何卒ご了承ください。**

当日服用していなければ採血できる対象薬(症状がある場合は採血しない)

種類	注意事項	
睡眠薬 抗不安薬	体調を考慮し判断する	>睡眠薬・抗不安薬 マイスリー、ソメリン、ネルボン、サイレース、ハルシオン、デパス、レキソタン、ワイパックス、ソラナックス、メイラックス、セルシン、セバゾン、リーゼ など
解熱鎮痛薬 (非ステロイド系抗炎症薬、 風邪薬)	血小板献血を除く	>解熱鎮痛薬 アスピリン、インドメタシン、ボルタレン、ロキソニン、バファリン、PL顆粒 など >市販薬も同様

最終服薬日を含む3日間は採血不可、4日以上経過していれば採血できる対象薬

種類	注意事項	
向精神薬	・服薬が不要となり症状が安定していること ・体調を考慮し判断する	>向精神薬 抗精神病薬、抗うつ薬、抗そうつ薬、注意欠如・多動症(ADHD)治療薬 など
抗菌薬 (抗生物質、合成抗菌薬) 抗ウイルス薬 抗真菌薬	・治癒していること ・原因となっている疾患により献血できない場合がある	
止痢薬(下痢止め)	感染性下痢症を除く	>止痢薬 アドソルビン、フェロベリン、ロベミン など >市販薬も同様
痛風発作治療薬		>痛風発作治療薬 コルヒチン
喘息治療薬	1か月以上発作がない場合に限る	>喘息治療薬 ・β刺激薬(経口、吸入(長時間作用性β2刺激薬を除く)、貼付) ・キサンチン誘導体
解熱鎮痛薬 (非ステロイド系抗炎症薬、 風邪薬)	血小板献血の場合	>解熱鎮痛薬 アスピリン、インドメタシン、ボルタレン、ロキソニン、バファリン、PL顆粒 など >市販薬も同様

薬の服用と献血ができるまでの期間について③

お薬には、原因となっている疾患や種類によって献血延期期間が決められている対象薬があります。

原因となっている疾患により採血できない対象薬(治癒後、服薬が不要となれば改めて判断する)

種類	注意事項	
抗けいれん薬		> 抗けいれん薬 プリミドン、フェノバル、ノーベルバル、ルピアル、ヒダントール、アレピアチン、デパケン など
抗凝固薬		> 抗凝固薬 ワーファリン、エリキュース、プラザキサ、イクザレルト、リクシアナ など
血小板凝集抑制薬		> 血小板凝集抑制薬 アスピリン、プラビックス、バイアスピリン、ドルナー など
抗甲状腺薬		> 抗甲状腺薬 チウラジール、プロパジール、メルカゾール など
抗不整脈薬		> 抗不整脈薬 サンリズム、リスモダン、タンボコール、メキシチール、ワソラン、アミオダロン など
冠拡張薬	貼付薬含む	> 冠拡張薬 ニトグリセリン、ニトロール、フランドル など
心不全治療薬		> 心不全治療薬 ジゴキシン、タナドール など
糖尿病治療薬		> 糖尿病治療薬 ジャヌビア、ザファテック、ジメリン、トラゼンタ、ファスティック、グルファスト、スーグラ、フォシーガ など

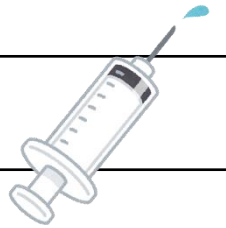
献血延期期間が定められている対象薬又は、無期延期の対象薬

種類	注意事項	
治療用ホルモン薬	1か月間延期	> 治療用ホルモン薬 ステロイドホルモン剤、性ホルモン剤、タンパク同化ホルモン剤
免疫抑制薬	1か月間延期 原因となっている疾患が 献血可能なものに限る	> 免疫抑制薬 イムラン、アザニン、セルセプト、エンドキサン、プログラフ など
抗がん剤	5年間延期	
乾癬治療薬	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 乾癬治療薬 ・チガソン…無期延期 ・アキュテイン…1か月延期 ・ソリアタン…3年間延期
育毛薬 前立腺肥大症治療薬	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 育毛薬・前立腺肥大症治療薬 ・アボダート、アボルブ、デュタス、ザガーロ…6か月間延期 ・プロスカール、プロベシア、フィンペシア、フィンカー、フィナステリド …1か月間延期
輸血以外の 特定薬物由来製品	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 輸血以外の特定薬物由来製品 ・アルブミン、免疫グロブリン、フィブリノーゲン、トロンビン…3か月延期 ・抗HBsヒト免疫グロブリン…6か月間延期 ・ヒト由来プラセンタ注射薬(ラエンネック、メルスモン)…無期延期

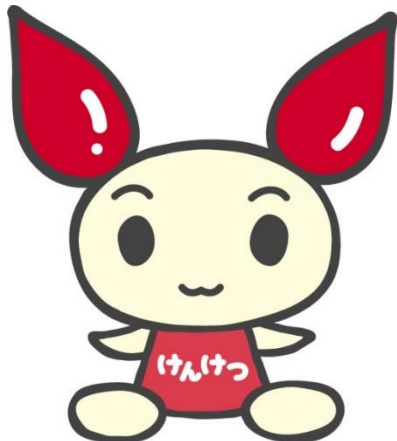
予防接種後献血ができるまでの期間について

予防接種は、種類により献血ができるまでの期間が決められています。

予防接種		
種類	注意事項	
不活化ワクチン トキソイド	接種後24時間以内は 献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・A型肝炎ワクチン ・インフルエンザワクチン ・狂犬病ワクチン ・コレラワクチン ・子宮頸がんワクチン ・髄膜炎菌ワクチン ・腸チフスワクチン ・日本脳炎ワクチン ・肺炎球菌ワクチン ・百日せきワクチン ・不活化ポリオワクチン ・ワイル病秋やみ混合ワクチン ・ジフテリアトキソイド ・破傷風トキソイド など
B型肝炎ワクチン	接種後2週間以内は 献血できない	
抗HBsヒト免疫グロブリン	接種後6か月間は 献血できない	
動物咬傷後の 狂犬病ワクチン	接種後1年間は献血 できない	
弱毒生ワクチン	接種後4週間以内は 献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・BCGワクチン ・黄熱病ワクチン ・おたふくかぜワクチン ・水痘・帯状疱疹ワクチン ・腸チフス・パラチフスワクチン ・生ポリオワクチン ・風疹ワクチン ・麻疹ワクチン ・ロタウイルスワクチン など
天然痘ワクチン	接種後2か月間は 献血できない	接種後に副反応があった場合は延期される。
抗毒素	投与後3か月間は 献血できない	破傷風、毒蛇(まむし、はぶ)、ジフテリア、ウルセランス菌感染症、ガスエソ、ボツリヌス
ツベルクリン反応	検査期間中の48時間 は献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・陰性の場合には採血できる。 ・陽性の場合、結核感染が疑われず、主治医から治療・精査を指示されない場合には献血できる。



ご不明な点は、下記にお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先



日本赤十字社

岩手県赤十字血液センター

〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6

TEL 019-637-7201